

# 体験しよう! テスト分析設計 エクササイズ

～マインドマップを使って  
テスト設計マインドアップ!  
(初心者向け)～

ワークショップ講師

吉田 絵理(日本ナレッジ) 金丸 優介(日本ナレッジ)

ワークショップTA

岡野 麻子(NaITE) 角田 俊(NaITE)

ゲストチュートリアル講師

池田 暁(ASTER)

# はじめに ①

## 【撮影・SNSについて】

- 本ワークショップでは、レポートに掲載するためにワーク中の写真を撮影致します。参加者の方の顔が映らないように配慮して行いますが、問題のある方がいらっしゃいましたら、おっしゃってください。
- 参加者の方が撮影を行われる際は、写る方に許可を頂いてから、撮影いただくようお願いいたします。ワーク中に作成したものを撮影する場合も、同様です。
- SNSに関しては、基本的に規制はありません。ただし、公開してほしくないものがある場合は講演者から直接お願いする場合がありますので、その際はSNSへの書き込みなどはご遠慮ください。

# はじめに ②

- ・ 今回のワークは、聴覚に障がいをお持ちの方が参加されます。
- ・ 情報保障の手段として、要約筆記というサービスを利用されるため、要約筆記担当の方にご同席いただきます。

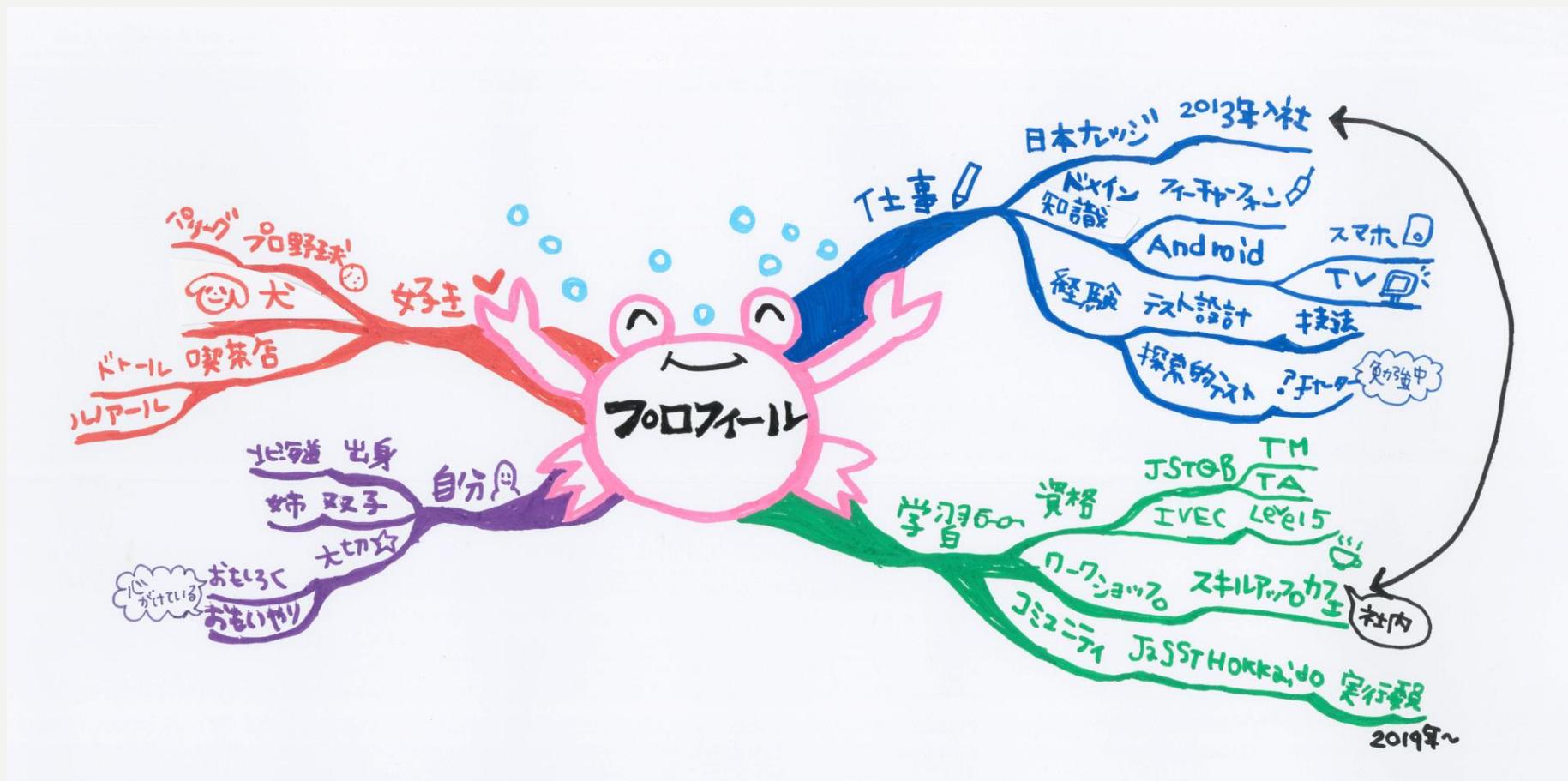
ご理解とご協力をお願い致します。



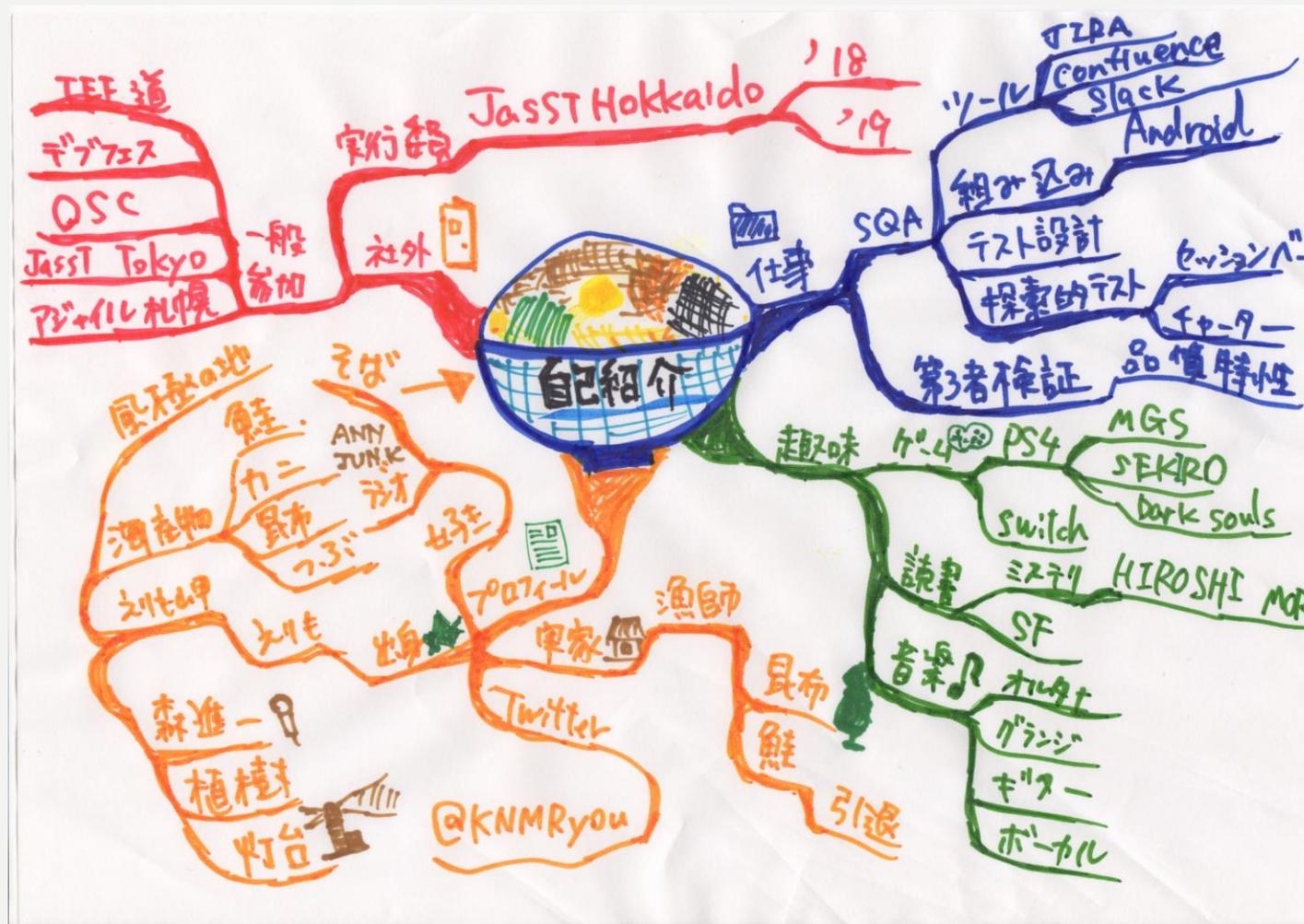
# 講師自己紹介

皆さんと一緒にワークする講師を紹介いたします！

# ワークショップ講師 吉田 絵理 (日本ナレッジ)

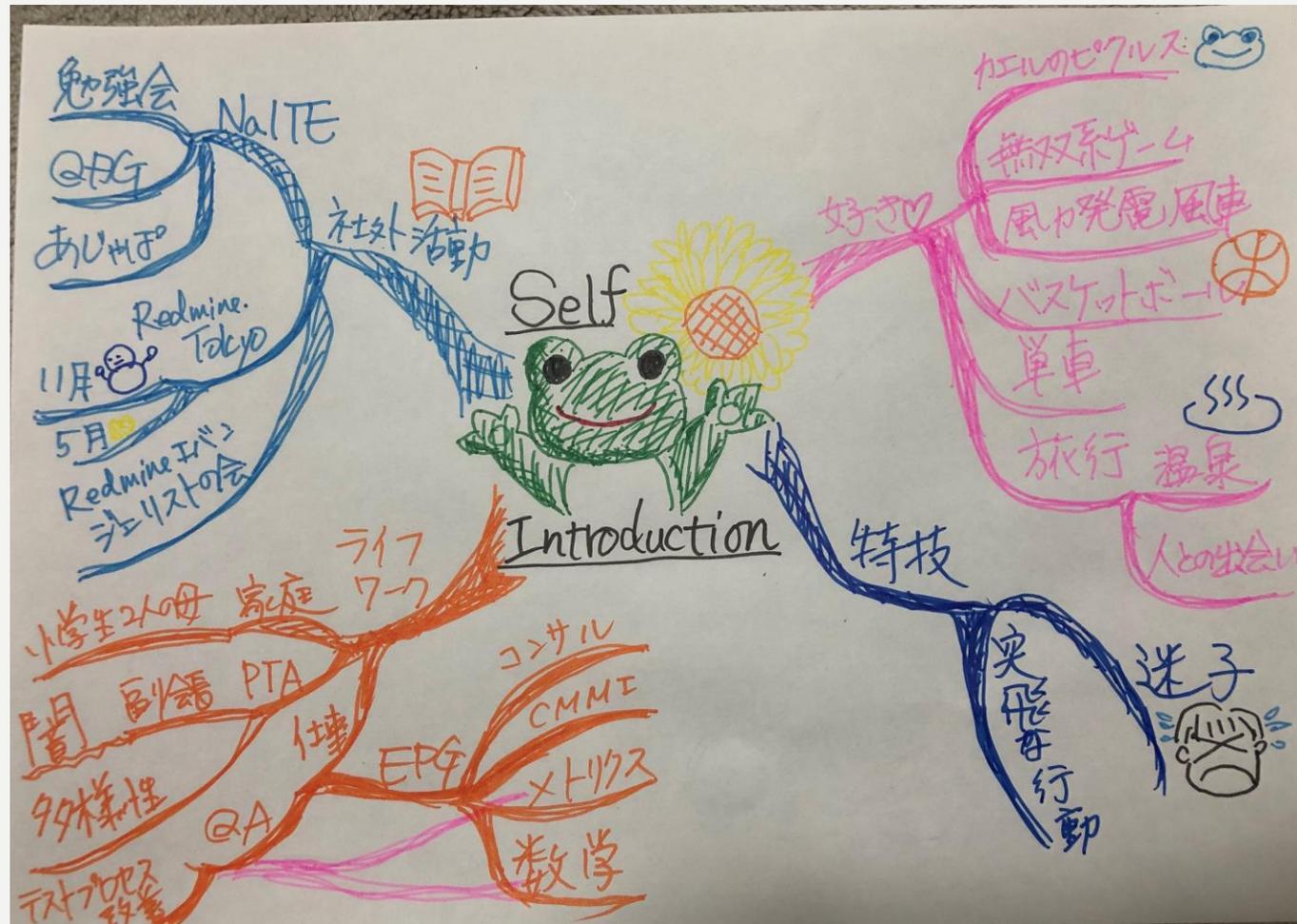


# ワークショップ講師 金丸 優介 (日本ナレッジ)

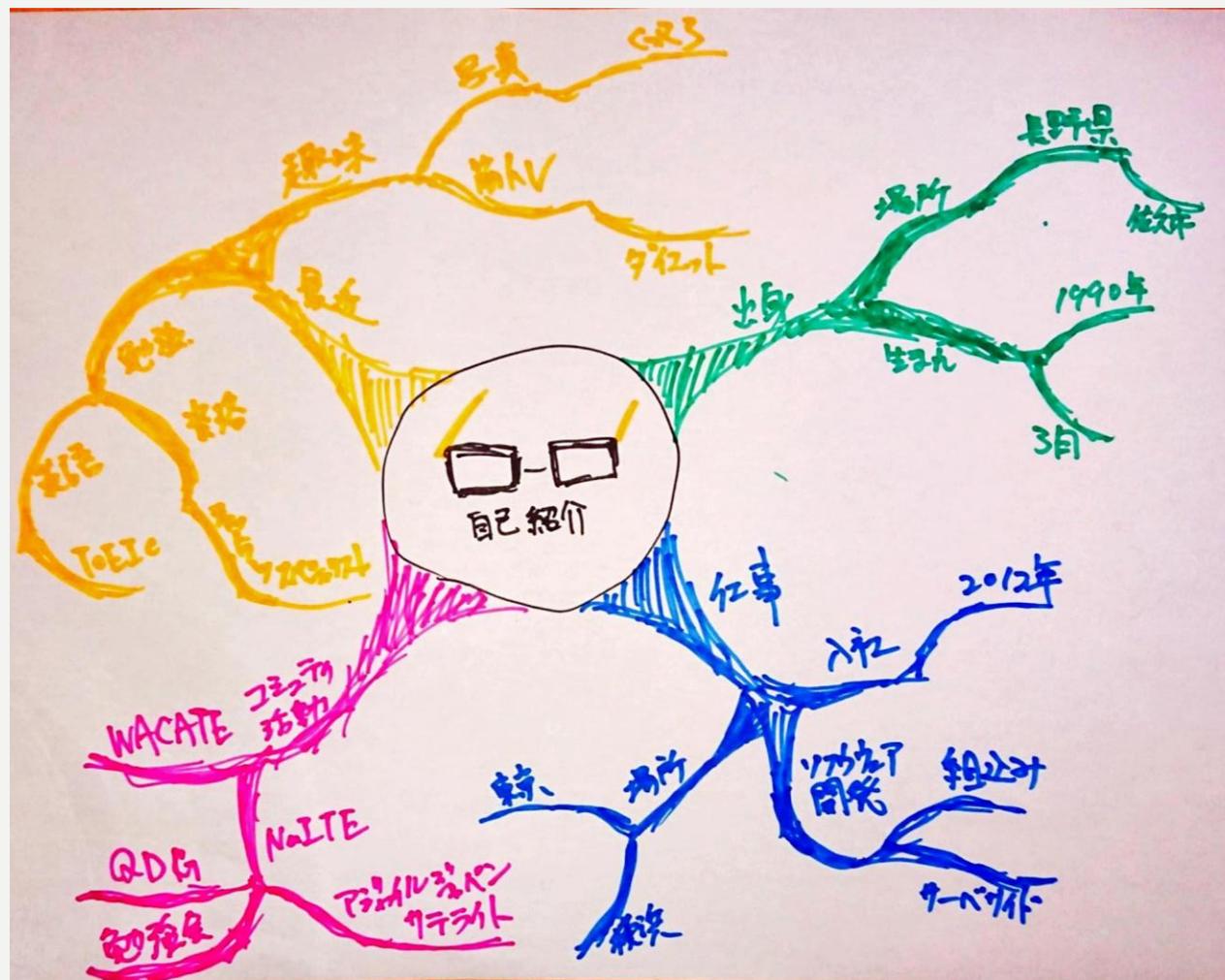


# ワークショップ T A

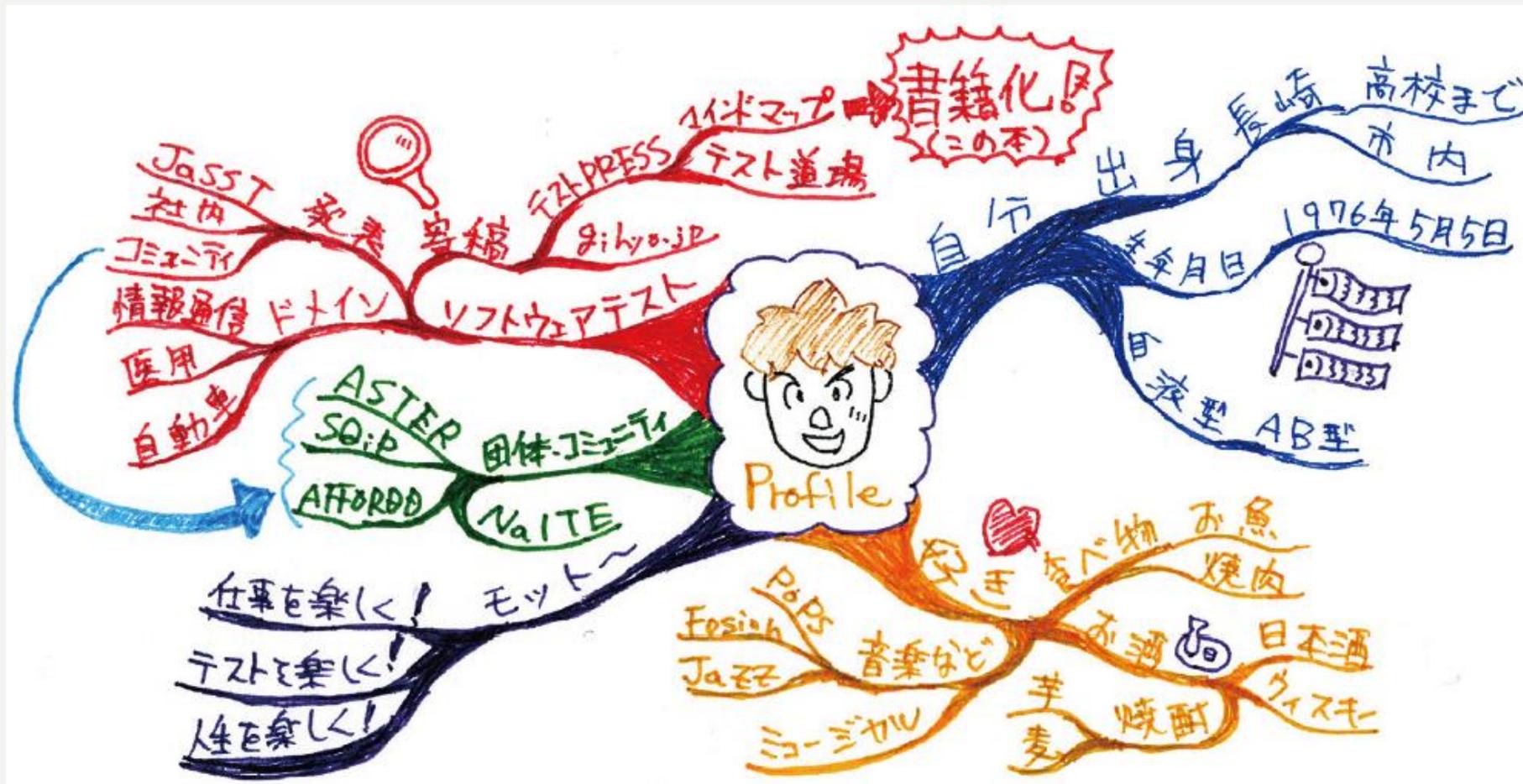
## 岡野麻子 (NaITE)



# ワークショップ T A 角田俊 (NaITE)



# ゲストチュートリアル講師 池田暁 (ASTER)





# ワークショップ の概要

ワークを始めるにあたって、本ワークショップの概要や目的、GOALを確認しましょう！

# アブストラクト

- 効果的なテストを行なう上で、テストケースは、対象となるソフトウェアやその時々状況において戦略的に作成する必要があり、そのための分析や設計作業が重要です。
- ところが、この作業はどのようにすすめ、またどのような手法を使ったら良いかわからないという悩みを聞くことが多くあります。
- 近年ではこのような悩みを解決するために、マインドマップを応用した手法など、様々な手法が提案されています。
- 本セッションでは、そんな**テスト分析設計をどうやったらよいかわからない**という悩みを持つ**テスト初心者を対象**に、テスト分析設計についてマインドマップを使った体験エクササイズを行います。
- チュートリアルには今年4月に「[改訂新版]マインドマップから始めるソフトウェアテスト」を出版した池田さんにご担当いただきマインドマップを使った手法を解説いただきます。
- **マインドマップを使った分析と設計の基本を体験**して身につけましょう！
- テスト分析設計を創造的に！ マインドマップを使ってマインドアップ！！！！

# 本ワークショップの目的とGOAL

## 目的

- 「テスト分析設計をどうやったらよいかわからない」という悩みを持つテスト初心者を対象に、マインドマップを使った分析と設計の基本を体験して身につけていただく

## Goal

- テスト分析設計の基本的な考え方を理解する
- マインドマップを使ったテスト分析設計の基本を体感する
- テスト分析設計技法の使いどころを考えられるようになる
- マインドアップする



# ゲストチュー トリアル

池田氏から、マインドマップを使ったテスト分析  
設計の基本について、ご説明いただきます！

# マインドマップを利用したテスト分析設計チュートリアル

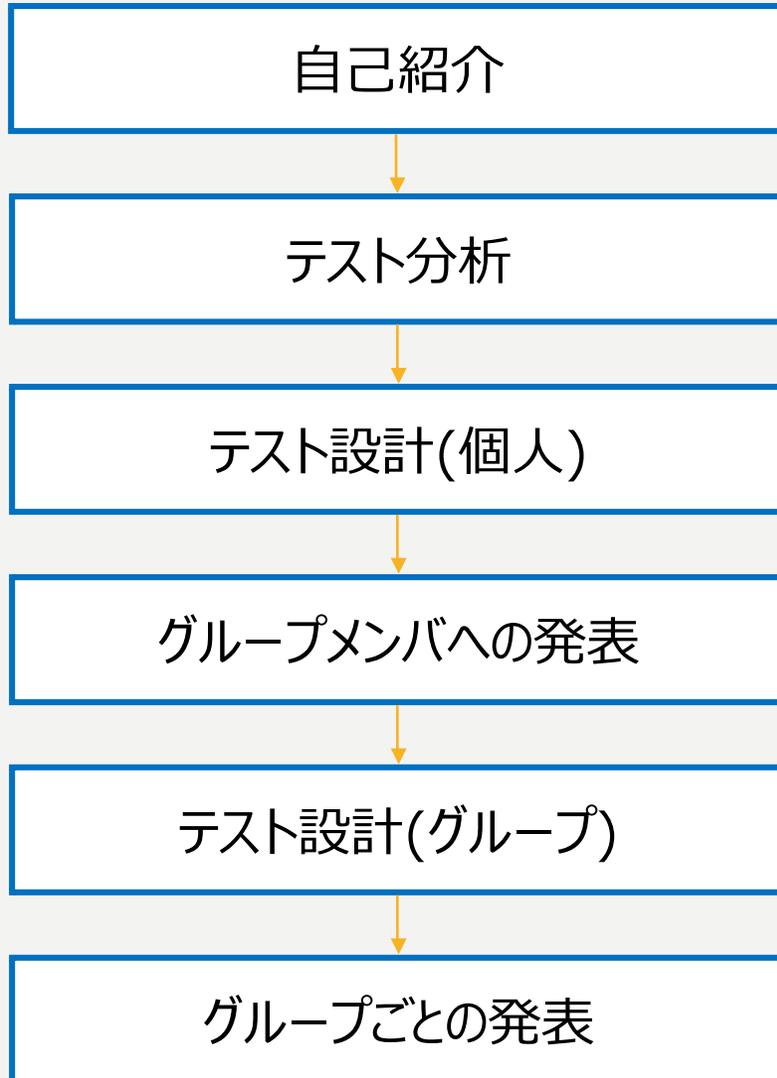
池田氏から、別資料にて進行していただきます



# 演習

では、レッツエクササイズ!

# 演習の流れ



- グループに分かれて行います。
- 個人で作ったマインドマップをグループで集約します。

←三色ボールペン

←マインドマップ

←マインドマップ

# 演習の設定

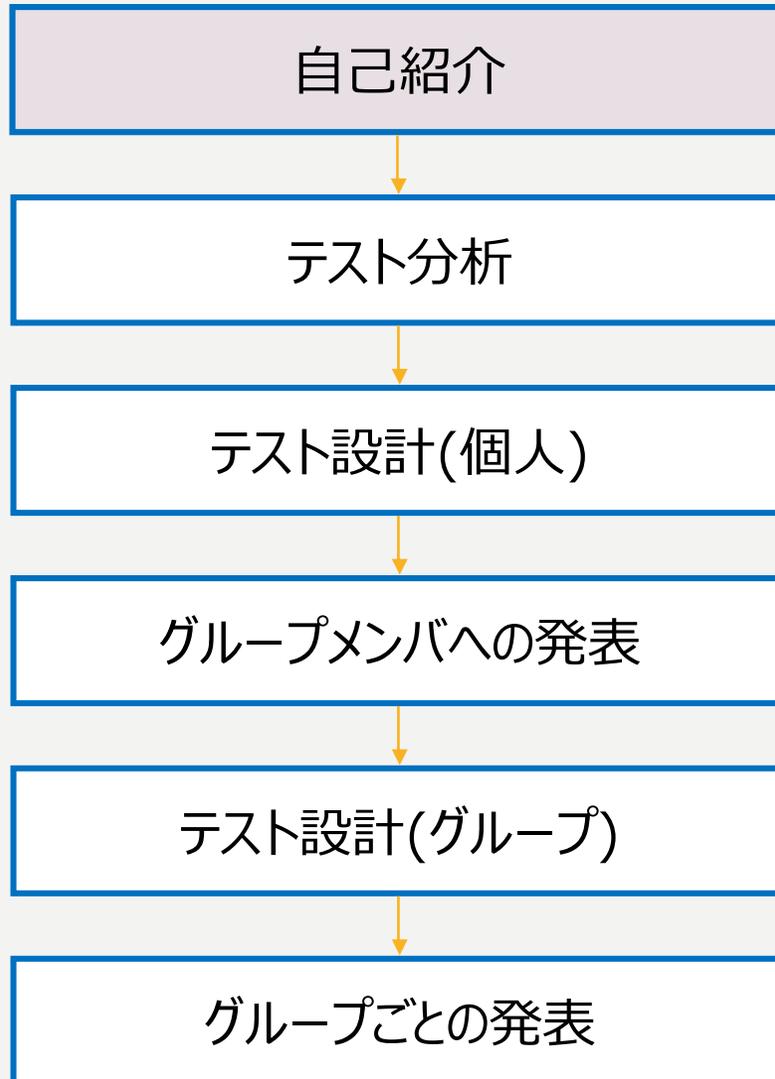
皆さんは急遽結成されたテストチームのメンバーです。

顧客からは仕様書のみがテストベースとしてインプットされ、2時間でテスト設計を提案して欲しいと要求されました。顧客は別の対応があるので問い合わせができません。このテストベースのみで、テスト分析設計を実施する必要があります。

※そういったわけで、講師、TAは仕様についての解説・説明は行ないません。

グループメンバーで協力してこの状況を乗り切りましょう！

# 演習1 まずは自己紹介しよう



## 【自己紹介しよう】

事前にお配りした自己紹介用マインドマップをもとに1分で自己紹介をしてください！

・メンバー表のリーダーに○が付いている方は、今日のワークショップでリーダーを担当して頂きます。チームのまとめ役をお願いします。

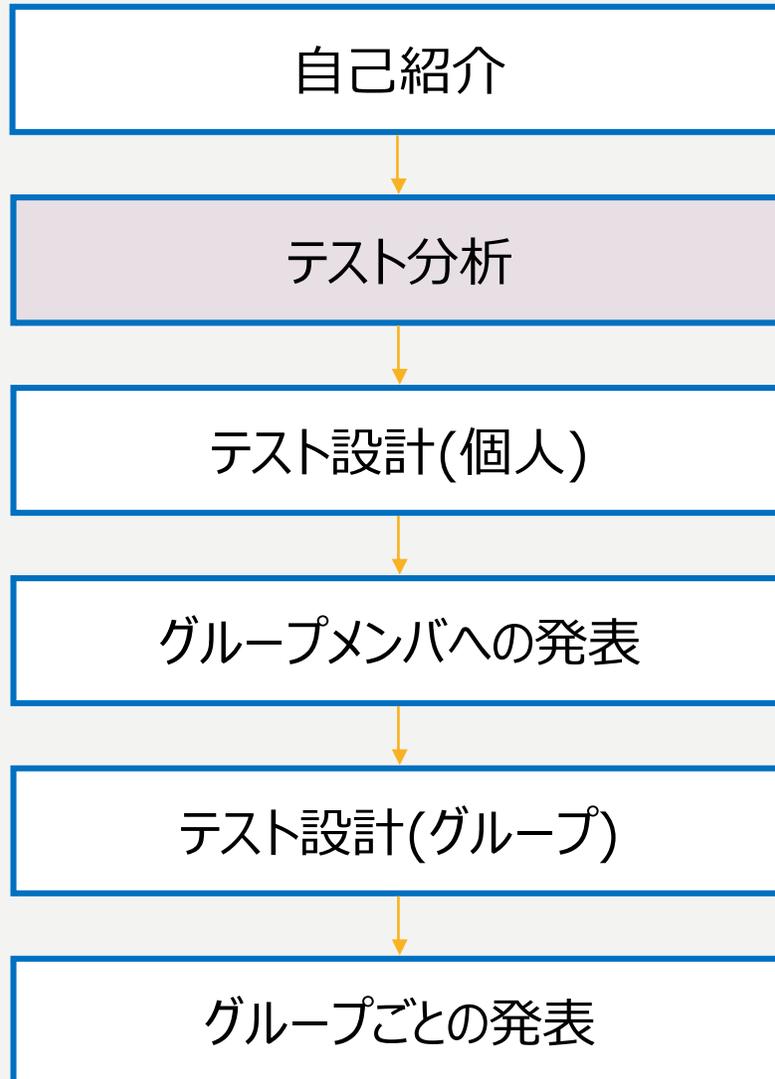
・メンバー表の発表者に○が付いている方は、グループの発表をお願いします。

1分/1人

# 自己紹介

# START

# 演習2 テスト分析してみよう



## 【仕様書を分析しよう】

配布する仕様書に3色ボールペンでチェックをいれていきます

- 赤：客観的に「重要」な箇所
- 青：客観的に「まあまあ重要」な箇所
- 緑：主観的に「気になる」箇所

これが次に行うテスト設計作業のタネになることを意識しましょう。

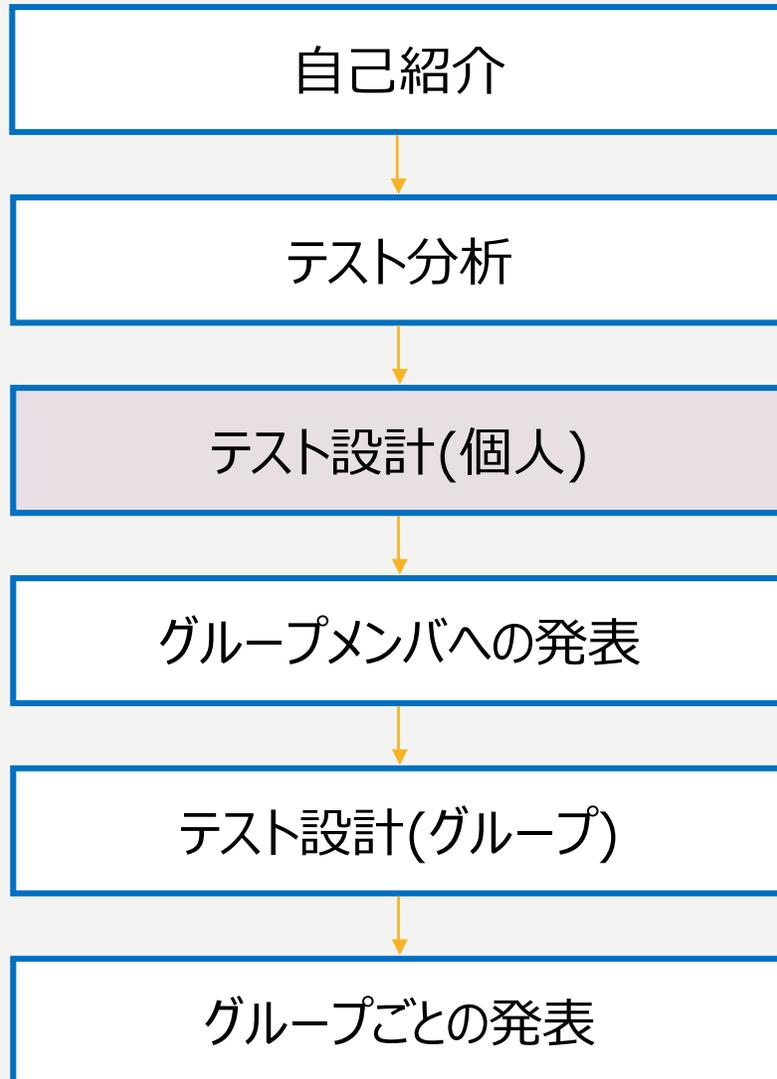
時間制限があります！  
全体をパラパラめくって読んでから、  
個別に読み進めることをおすすめします。

5分

# テスト分析

# START

# 演習3 テスト設計してみよう



## 【テスト設計してみよう】

- ・マインドマップを使います
- ・ヒント
  - 仕様書にかいてないことも意識する
  - 観点を意識する
  - 具体的なパラメータまでは考えない（時間が短いため）
  - 3色チェックしたところを手がかりに
  - テストカテゴリ
  - 過去の経験 etc...

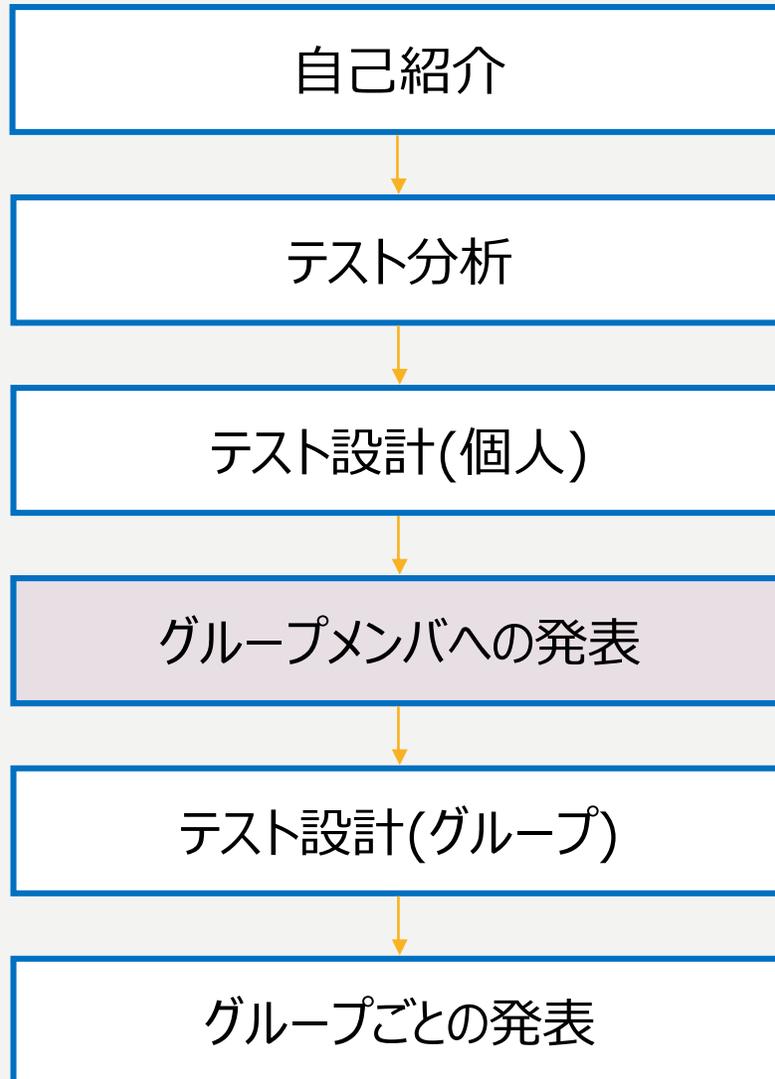
### <補足>

仕様についてのQAは受け付け致しません。  
付箋やメモはご自由にお使いください。

10分

# テスト設計 START

# 演習4 設計結果を発表しよう



## 【設計結果をメンバーに発表しよう】

- ・描きあがったマインドマップを使って、自分のテスト設計を説明しよう
  - マインドマップを指さしながら
  - 特に重要だと思うポイントにしぼって

# 話したりないところは、次のステップでしゃべってください

1分/1人

# テスト設計発表 START

# 演習5 テスト設計結果を集約しよう

自己紹介

テスト分析

テスト設計(個人)

グループメンバーへの発表

テスト設計(グループ)

グループごとの発表

## 【テスト設計を集約しよう】

・メンバーのテスト設計結果をグループで一つのマインドマップに集約します

・以下を考えながら取組みましょう

-グループとしてのテスト設計方針の統一

-集約、補完できるところはないか

-階層関係はどうか

-集約過程で、足りないと思ったら観点を付け加えてもOK

-紙の左上にグループ番号の名前を書いておいてください

\* 集約のプロセスも大切です。

\* メンバーそれぞれのユニークな観点を探したり取り込んでみては？

最後にグループで以下を発表していただきます！

① このマインドマップの売りはなんですか？

② このマインドマップから、チームで注力する・重視するテストはどんなものですか？

③ 今後テスト分析設計でどのように活かそうですか？

30分

# テスト設計集約 START

# グループごとに発表しよう

自己紹介

テスト分析

テスト設計(個人)

グループメンバーへの発表

テスト設計(グループ)

グループごとの発表

## 【発表しよう!】

- ・ 1グループ2分で発表を行っていただきます
  - マインドマップを指さしながら
  - 特にグループで特徴的だと思うポイントにしぼって
  - 発表は発表担当者が行います他のメンバーは模造紙を持っていただき、発表のご協力をお願い致します。

- ① このマインドマップの売りはなんですか？
- ② このマインドマップから、チームで注力する・重視するテストはどんなものですか？
- ③ 今後テスト分析設計でどのように活かそうですか？

1チーム 2分



# 全体総括

池田氏からフィードバックコメントをいただきます！



# おわりに

おわりに、ワークショップ講師からのメッセージをお伝えします！

# 演習お疲れ様でした！

- それぞれ気づきがあったと思います。
- 是非振り返りを行い，テスト分析&設計の改善につなげてください。
- お配りしたアンケートへの記入をお願い致します！
- アンケート記入中に、おみやげの仕様書を配布致します。  
ぜひ、持ち帰ってマインドマップを作ってみてください。
- 自分のチーム・プロジェクト内でのトレーニングに活用して頂けると幸いです。

やってみた感想はTwitterハッシュタグでつぶやこう！

#jassthokkaido

